

急に朝晩の冷え込みが厳しくなりました。
乾燥した気温の低い時期は、風邪やインフルエンザが流行しやすくなります。
予防のためにも早めにワクチンの接種を受けましょう。



インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月18日よりインフルエンザの予防接種を始めました。(※予約制ではありません。)

対象者	金額	
65歳以上の方	堺市在住の方	1回目 1000円
	堺市以外の方	1回目 3000円
		2回目 2500円
13歳未満の方	1回目	3000円
	2回目	2000円
上記以外の方	1回目	3000円
	2回目	2500円
予診の結果、接種を行えなかった場合 ※1	1500円	

※1 診察の結果、予防接種が出来なかった場合、診察料として上記負担金がかかりますので、体調の良い日にお越しいただくことをお勧めします。

予防接種可能な日

	日程	時間
予防接種専用日	11月 6日(土) 25日(木) 27日(木) 12月 9日(木)	午後2時～4時
診察時間内※2	(火)、(木)、(土) の午前診	午前9時～12時
	(月)、(火)、(水)、(金)の午後診	午後6時～8時

※2 当院で定期的に通院、投薬などで来られている方は、診察される日に、予防接種も出来ます。
予防接種のみの方で、診察時間内に来られる場合、診察の方が優先となり、待ち時間が長くなる場合があります。なるべく、予防接種専用日にお越しいただくようお願い致します。

接種当日のお願い

問診票のご記入、検温(37.0℃以下)を済ませて、診察券、保険証などをお持ちの上お越し下さい。
なお、風邪の症状(のどが痛い、鼻水が出ている)などひき始めの症状がある場合、接種を見合わせる場合があります。その場合、別途1500円(自費)がかかりますので宜しくお願い致します。

インフルエンザ予防接種助成制度について

堺市では、堺市在住で市民税非課税世帯に属する方や生活保護世帯の方は、申請により、ワクチン接種の実費負担が無料となる制度があります。詳しくは地域の保健センターにてお問い合わせください。

※インフルエンザについて

インフルエンザは、風邪(気管支炎)の症状とよく似ていますが、風邪(気管支炎)は細菌から、インフルエンザはウイルスによって感染し、まったく違うものになります。また、普通の風邪と比べて高熱、関節痛など重症化しやすく、特に心臓病、慢性の肺疾患、糖尿病、腎臓病などの慢性疾患をお持ちの方は、肺炎を併発したり、症状を悪化させてしまう恐れがあります。

予防するには、手洗い、うがいをこまめに行い、外出時にはマスクを着用する。

また、インフルエンザウイルスは、高温、多湿に弱いため、部屋を暖め、湿度を60%~80%にするとよいと言われています。が、最も効果的なのが、**予防接種**になります。

※インフルエンザの予防接種について Q&A

Q 今年のインフルエンザのワクチンは、**新型？季節性？**

A 昨年流行した**新型インフルエンザワクチン**と、**従来の季節性インフルエンザワクチン(A型、B型)**が混合されたものを使用します。



Q **接種は何回したほうが良いですか？**

A 13歳未満の方は2回接種、13歳以上の方は1回接種となります。

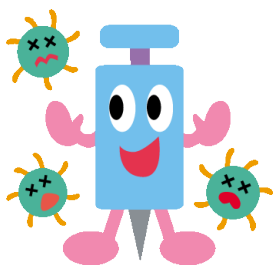
但し、13歳以上の方でも、基礎疾患をお持ちの方で2回接種が必要な方もいらっしゃいますので、医師にご相談ください。また、受験を控えている方は2回接種をお勧めします。

Q **1回目と2回目はどれくらい開けたらいいの？ ワクチンの効果は？**

A 1回目の接種から、2週間~4週間あけて2回目の接種をすると効果が持続します。
1回目は70%予防、2回目で90%の予防といわれております。

Q **他の予防接種も受けたいのですが、どれくらいの期間をあけないといけないですか？**

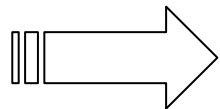
A インフルエンザの予防接種日から1週間あけていただいたら他の予防接種を受けていただくことができます。他の予防接種を控えている方でどのワクチンから受けていいかわからない方はスタッフまでご相談下さい。



インフルエンザ DPT(3種混合) DT(2種混合)
日本脳炎 肺炎球菌(成人用) 小児用肺炎球菌
ヒブワクチン

MR(風疹、麻疹) ポリオ BCG
水痘 おたふくかぜ

1週間あける



4週間あける

他の
予防
接種

基礎体力が低下し始めた高齢の方や、基礎疾患をお持ちの方は特に、重症化しないためにも、早いうちにワクチンの接種を受けられることをお勧めします。また、肺炎を予防する肺炎球菌ワクチンも同時に受けられると効果があります。詳しくはスタッフまでお声をお掛け下さい。

次回 11月20日発行